

のアルバム

新たな「おいで野洲音頭」完成！

市民の有志で活動されている外田義明さん（行畑）、立入好造さん（行畑）が旧野洲町から伝わる野洲小唄をリニューアルし、新たに「おいで野洲音頭」を作成されました。

この日は、音楽CD（5枚）を寄贈するため江州音頭の音頭取り坂田進道さん（大津市）とともに市役所を訪問しました。

これまで野洲小唄には無かった、旧中主町の名所や地域の特徴が歌詞に盛り込まれています。

市では、地域での活用など、この唄が市民の皆さんに親しんでもらえるような取り組みを行います。

▼3月6日 市役所



▼3月6日 童子川・中ノ池川



ビワマスが帰ってきています！

「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスに戻すプロジェクト」によるビワマスの稚魚調査が行われました。

昨年砂利を敷いて作った産卵床に、ビワマスが産卵し繁殖が順調に行われているかを調査するもので、今年は21匹もの稚魚が確認され、昨年の3匹を大きく上回る結果となりました。

これは昨年多くのビワマスが琵琶湖から上流に遡上してきたこと、産卵床を拡大し、違法捕獲の監視を強化したことなどによるものと考えられます。

今回の調査では、こうした取り組みの成果が着実に現れていることが確認されました。

今後も、地元、事業所、行政機関の協働でさらなる活動を進めていきます。

野洲の美味しいお米「愛郷米」

野洲愛郷米生産組合は、お米の栽培を通じて地域の特産品の育成、活性化をめざし、いち早く環境に配慮した栽培や契約栽培に取り組み、安全で安心なお米を生産されてきました。

この日は、同組合の総会記念講演を開催され、「愛郷米」のブランド化づくりについて生産者全員が熱心に聞いておられました。

また、市より「愛郷米」の産地育成の取り組みを通じて市の農業振興に貢献をされている幸南食糧㈱に対し、感謝状をお渡ししました。

▼3月5日 JA おうみ富士野洲営農センター



歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

花籠「波」 杉田静山 竹工芸作品

杉田静山^{すぎ た じょうざん}さんは、野洲市在住の滋賀県無形文化財保持者で、日本を代表する竹工芸作家の一人です。特定の師にはつかず、独学で技を磨き、数多くの作品を発表し、日展や日本伝統工芸展で入選、受賞を重ねています。

杉田さんは、材料は真竹を用います。節と節の間を長くとれるからで、節の部分は固く角張っているので使いません。竹のしなやかさを生かし、より大きな作品を作ることができるためです。素材の細い竹ひご作りに時間を費やし、割って丁寧に一本ずつ削り、編みあがると繊細な作品に仕上がります。

花籠「波」は、「重ね編み」と呼ばれる技法による作品です。六つ目編みの面を二重に重ね、連なる模様を均等にずらして編みあげています。六つ目編みは日本古来の編み方で、透かしの美しさは独特であり、杉田さんが好きな技法です。6本を基本に竹ひごを加えて編んでいきますが、籠を作るには平面を立体的な形にしていく技が必要です。また、全体がゆるやかなカーブを描きながら、口縁の微かな曲線を生み出し、動きのある造形を創りあげています。杉田さんの作品は「海の調べ」「潮の音」「うずしお」など自然をイメージしたものが多く、本作品も「波」と名づけられました。

竹のしなやかさを生かした繊細で優美な作風は、伝統的な技法を応用した高度な技を極めながら培われてきたものです。竹工芸の技と美の世界をぜひご鑑賞ください。

(博物館学芸員 行俊 勉)



花籠「波」杉田静山作・寄贈 (撮影：杉田昭子)

■特集陳列「杉田静山 竹工芸作品」5月28日(日)まで

休館日：月曜日 ※市民は入館無料



生涯スポーツ発展に貢献

滋賀県スポーツ顕彰において、生涯スポーツ功労者に岩井孝子さん(行畑)、生涯スポーツ優良団体に YASU ほほえみクラブが表彰を受けました。

この表彰は、県のスポーツ推進に尽力した人(功労者)、団体(優良団体)など長年にわたる功績を表彰するものです。

このような活動の支えを受けながら、市でも、市民の皆さんがスポーツを通して健康に暮らせるまちづくりに努めます。

▼2月24日 市役所



全国大会での活躍に期待！

野洲ジュニアソフトテニスクラブと野洲ソフトテニスクラブ所属の選手たちが全国大会出場報告のため市役所を訪問しました。

選手たちは「全国大会では優勝をめざして頑張りたい。」と力強く語り、市長から「強い気持ちを持って頑張ってください。」と激励を受けました。

▼2月24日 市役所

